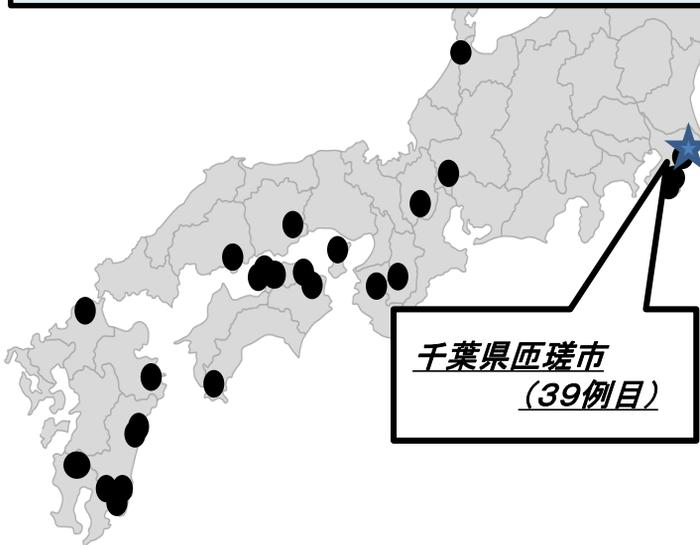


千葉県のおひる農場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認！（国内39例目）

1月24日、千葉県匝瑳市のおひる農場で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI H5亜型)の疑似患畜が確認されました。国内39例目、千葉県では4例目の発生となります。

引き続き野鳥・野生動物侵入防止や、石灰散布等による消毒などの発生予防対策の徹底、強化をしてください。

愛玩用の家きん飼育者のみなさまにおかれましても、消毒の励行、野鳥・野生動物侵入対策をお願いします。



★39例目

【農場の概要】

- ・農場所在地 千葉県匝瑳市
- ・飼養状況 おひる 約3,500羽

【経緯】

- ・1月23日、千葉県が37例目(千葉県横芝光町)の発生を受けて実施した発生状況確認検査で、ウイルス分離検査陽性だったため、簡易検査を実施したところ陽性。
- ・1月24日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、HPAI疑似患畜と確認。
- ・疫学的関連が確認された千葉県匝瑳市の1農場(おひる 約1,900羽飼養)についても、防疫指針に基づき、疑似患畜と確認。

今シーズンのウイルスは、感染してから死亡するまでの期間が長い傾向があるため、鶏の症状に注意を払う必要があります。

発生農場の疫学調査報告によると、はじめは寒冷や他の疾病による通常の死亡と思っていたら、急に死亡が増えたり、鶏舎内の一部に死亡が集中し始めた…といったケースも見られます。

いつもと違うと思ったら、家畜保健衛生所に連絡してください。

特に次の症状に要注意！

- 突然死や元気消失、死亡羽数の増加
- とさかの変色、チアノーゼ(青黒っぽくなる)
- 鶏の顔が腫れる
- 産卵率の低下

さらに詳しくは農林水産省HP…

令和2年 鳥インフルエンザ

